

さんかく
みんなで作ろう 男女共同参画社会

学校では...

男の子も女の子も
仲良く協力しよう



家庭では...

家の仕事も
みんなで分担



地域では...

みんなで助け合い
支え合い



仕事では...

自分は、
ペットショップで
働きたいな

私は、
科学者になる!

自分の好きなことに
チャレンジしよう



男の子も 女の子も

みんながイキイキと
かがやく社会

正しい発音で英語を
話しましょう!



続けて発音してみましょう!
「Apple」

アップル!



「ア」が正しくありません。
口を大きく開けて、舌をもう少し
前に下げて発音してみましょう!

う〜ん、
英語の発音って
難しいな。



そうだね。
でも、この学習ソフトで勉強すれば、
外国人と話すときも自信を持って英語を
話すことができるね。

この学習ソフトを
つくったのは、わたしの
近所のお姉ちゃん
だよ!

おごーいっ!



でも、コンピューターの仕事って
男の人の仕事じゃないの?

そんなことはないよ。
どんな仕事も、男だとか女だとか、
性別で決まってい
ないんだよ。



保護者の皆様へ

豊橋市では女性も男性も自分らしくいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指しさまざまな取組を行っています。

性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力を発揮できる環境を整えるためには、家庭、地域、学校、職場等、生活の様々な場面で人々が男女共同参画を意識していくことが重要です。ぜひ、この機会にご家庭の中でも自分らしさや将来の夢などについて話し合ってみてください。この学習資料が子どもたちの目標づくりや未来を描く参考になればと思います。

●男女共同参画学習資料
(小学校高学年用)

発行 平成23年9月
豊橋市市民協働推進課
〒440-8501
豊橋市今橋町1番地
TEL. (0532) 51-2188



*このパンフレットは、カラーユニバーサルデザインに対応しています。

みんなの将来の夢は何かな?

① わたしの仕事 ▶ 大学の研究者 (専門は情報工学)

大学で自分の専門の研究をしたり、学生に勉強を教えたりしています。



▲現在研究中の学習ソフト



みなさん、こんにちは。私は、現在、豊橋技術科学大学で音声処理技術をもとに英語の発音学習ソフトをつくる研究をしています。自分がつくったソフトが、世に出て、多くの人に使われることを考えるとワクワクします。

父の影響もあって、小さい頃からコンピューターを使うことが好きでした。小学校のころの得意科目は、算数です。

男の子も、女の子も、自分の好きなことを大事にして、夢に向かってがんばってくださいね。



女性の研究者は、まだまだ少ないみたい。でも、男性だけでなく、女性も一緒に考えることで良いアイデアが生まれるって期待されているんだ!

② ぼくの将来の夢 ▶ 保育士



保育士をめざして勉強している先輩に話を聞いてきたよ。とっても、イキイキしているね。



▲保育士をめざして、ただいま勉強中!

ぼくは、いま、豊橋創造大学短期大学部で保育士になる勉強をしています。ぼくが保育士をめざしたのは、子どもが好きで、子どもが元気に育つ過程に関わることのできるすばらしい仕事だと思ったからです。

将来の仕事を決めるとき、女性が多い保育士になることに不安を感じましたが、学校の先生や家族がぼくの夢を応援してくれました。

仕事をめざす理由は何でもいいんです。「好きだからなりたい」そんな簡単な理由でいいんです。どうか素敵な将来の夢をみつけてください。



▲休日には、ボランティアとして、子どもたちと遊ぶ活動もしています。

男女で力を合わせよう!



仕事、地域、家庭など、生活のさまざまな場面で、男女が協力し、力を合わせることで、みんながイキイキと暮らしやすくなるよ。どんな協力ができるかな?

地域活動も男女いっしょに



地域の災害ボランティアコーディネーターをしています。災害ボランティアは、災害が起こったときに、避難所でご飯を作ったり、家具の片付け、お年寄りのための水くみをするなど、被害を受けた人々が早く日常生活ができるためのさまざまなお手伝いをします。

男も女も関係なく、地域で協力しあうことはとても大切なことです。

家庭の中では、どんな協力ができるかな?



我が家ではお父さんが買い物と食事づくり、お母さんが掃除と洗濯をしています。結婚したとき2人も働いていたので、自然と家事を分担するようになりました。

子どもも家族の一員として、大きくなったらお手伝いをしてもらいたいと思っています。小学生のみならずはどんなお手伝いをしているのかな?

子どもが1歳になるまでは妻が仕事を休んで子どもの世話をしていたけれど、今は仕事に復帰し、ぼくが育児休業を取っています。

育児の大変さも仕事の大変さもお互いよく分かるので、さらに夫婦で思いやれるようになりました。

